

平成28年度 冬の談話会

- 日時:平成28年12月15日(木)16:30~18:00
- 場所:西5号館 レクチャーシアター (W531)
- 講師:久世 正弘 氏 (理学院教授)

ニュートリノの物理 ~何がわかったか、これから何を探るか~

ニュートリノは光子に次いで宇宙にありふれた素粒子であるが、弱い力しか感じない特異な性質のため、日常生活でその存在を感じることはない。素粒子標準理論では質量がゼロであるとされていたが、ニュートリノ振動の発見により非常に小さいながらも質量があることがわかり、昨年のノーベル賞の受賞テーマになった。自然および人工のニュートリノ源を用いた様々な振動実験により3世代のニュートリノの混合角が決定され、次の測定目標は混合行列の複素位相に起因するCP対称性の破れである。質量の絶対値も未知であり、その値は初期宇宙の発展に大きな役割を果たしたとされている。最新の実験結果をレビューし、今後の研究の方向についてお話ししたいと思います。

物理学系 クリスマスパティー

談話会終了後、物理学系のクリスマスパーティーを開催します。

- 場所 :本館 2階 284号室(物理学系輪講室)
- 会費 :講師以上は支払い済 その他職員(1000円)
- 学生 :無料

世話人: 岡、上妻